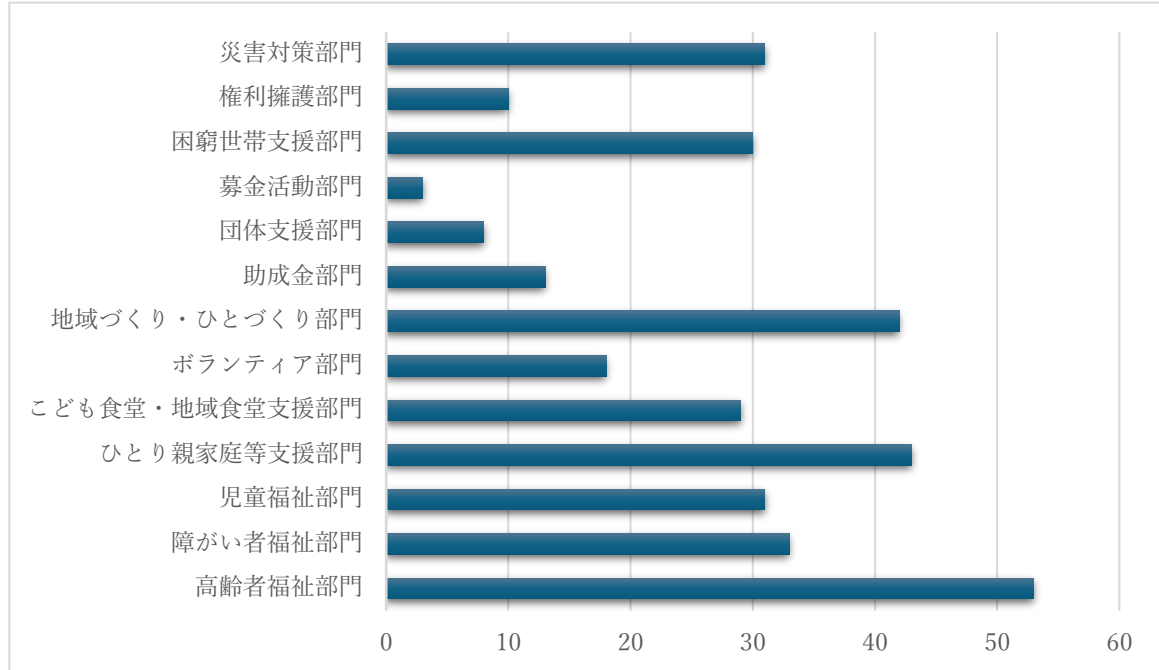


令和8年度事業実施に向けたアンケート～雲仙市社会福祉協議会に求めるものとは？～

結果報告（全て）

1. 本会に重点的に行ってほしい分野はどの分野ですか。（複数回答可） n=100



2. 自由記述（原文のまま）

- ✓ 子供から高齢者まで関われることは幅広く考えられることかなと思います。課題が年々変化している中、ますます地域や人づくりの大切さを感じます。ぜひ皆が楽しいような企画をお願いします。
- ✓ 高齢者の孤立を無くして、孤独死が無くなりますように。
- ✓ 居場所作り。不登校の子に限らず、色んな世代が集えるサロンのような場所があればいいなと思います。行ったら誰かと話せる、時にはものづくりや講演などのイベントがあって、多世代の人と関われるようなそんな場所がほしい。
- ✓ 様々な方と横の繋がりができればと思います。
- ✓ 私としては、やっぱり「気軽に相談できる存在」でいてもらえることが一番ありがたいと感じています。困ったときに最初に思い浮かぶ場所、ちょっとしたことでつながれる安心感があると、地域の人たちも心強いと思います。
- ✓ 社協には行政では手の届かない細かな支援をお願いしたいです。（行政とも連携しながら）
- ✓ 地区だけではなく社協の大広間を利用して住民誰でも参加出来るような事業を導き出してほしいですね。
- ✓ 日頃より地域の福祉の見守り、まとめ役としてのお仕事感謝しております。いつ起こるともしれない災害等への対応、頼れる社協として、地域の連携の繋ぎ役として期待しております。
- ✓ 防災無線機器の老代又はスマホを活用した防災対策の促進。
- ✓ お疲れ様です。社協へ求めるものは多岐にわたりますが、地域の住民に寄り添う存在であって欲

しいと思っています。上の質問に対しても、全部にチェックを入れたいところです。それは、職員さんが大変過ぎますので、押さえました(笑) 頑張ってくださいませ！

- ✓ スピード感をもって支援してもらいたい。
- ✓ 本当に困っている人、悩んでいる人、そして、そういう時に声を出せない人に寄り添える、声をかけることができる、弱い人にどこまでも優しい雲仙市社会福祉協議会であってほしいと願っております。
- ✓ 子どもの不登校と大人の引きこもり。
- ✓ ○広報誌の更なる充実
サービスを受けたあるいは行事に参加した当事者の声や感想の記事を増やす。その事によりこれまで関係が希薄だった人たちが知り関わりに繋がる可能性が出てくる。
○募金活動の充実向上
募金がどのように使われ役に立っているかを広報誌で金額やグラフのみでなく前記同様見える化し効果的にして欲しい 募金活動時もそれが役に立つと思う。
○自分ごとの意識の醸成
家族誰もが関わる社協と思ってもらえるためのあらゆるとりくみ。
- ✓ 小規模でもコツコツとできれば良いと思います
- ✓ 地域づくりの中で多世代交流とその居場所が不足していると感じる。
地域食堂がその一環となっている部分もあるが現役世代(20代から50代)も混じりやすい居場所と繋がりがあればと感じる。顔の見える関係性が希薄化しないためにも必要だと考える。
福祉人材とその担い手不足に対しても対応していく事業があってもいいかと思った。地域の施設などを訪問した際にケアマネなどの福祉人材が不足しているという声がある。また、現在取り組んでいる最中ではあるが縦割りを超えた情報共有ができるようになるだけでなく利用者側が何処に相談すればいいのか？どこと繋がっているのかなどの全体像を把握しやすく活動も進めていかなければならないと感じてる。また、地域食堂の運営、主催者の育成やサポート、知識や技術の提供とそれらの今後社協に求められると思う。
- ✓ 社協の放送の「繰り返します」の次は、日時でなく「～について」で始めてほしい。放送を聞く習慣付けのために。
- ✓ 社協さんは上記分野にあるように多岐にわたり、細やかで温かい支援をしてくださるので、どれも差はなく、選び難かったです。そのため一人当たりの負担が大きく、職員不足ではないのかが心配になるくらいです。可能ならば職員を増やし、これまで以上に誰もが頼れる社協さんであってほしいです。
- ✓ 災害発生時に被災者及び避難者へのボランティア活動など各団体と連携して対応する仕組を今後出来ればと思います。
- ✓ 多職種と繋がり、多方面から考え、力を合わせていくことは必要、大事なことだと思います。
- ✓ ダンスで何かお手伝いしたいです^^'だけど、どうやってお手伝いしたらいいかわかりません^^'
^^'
- ✓ あまり詳しくわかりませんが、何をしても送迎が充実しないと、決まった人しか参加しない状

況になるのではないかと考えてます。いきたくても、乗せてくれる人がいない、家の庭まで来てほしい、雨の日なんかは特に。細かなところの配慮が必要かと思います。

市、事業所、ケアマネ、包括、病院 PT.OT.ST などの連携、協力体制もカタチだけではなく、まとまりがある組織づくりも大事なのかな、と思います。

- ✓ 困ってる人たちの声をしっかり受け止めてまとまりのある組織をお願いします。
雲仙市が住みやすく、お年寄りの知恵を若者へ、子どもへそして、元気をお年寄りへ。
地域で支えあえるような仕組みも考えていけるといいな。と
- ✓ 社会情勢の急変、自然災害等の災害発生時各分野事の対応策マニュアル作成しておくこと避難指示、安否確認、支援物資 避難所環境、心的アフターフォロー等に活用できるのではないのでしょうか。
- ✓ それぞれの社協が取り組んだ介護事業撤退から、地域の方、高齢者の足が遠のいていると実感しています。集客の為再確認の為、3月号の小浜老人福祉センターのお風呂の紹介は、とてもよかったですと思います。これからも周知をよろしくお願いします。

3. 年齢 n=99

